

宇都宮製作

手袋をはじめとした医療関連製品を展開する宇都宮製作では、コロナ禍により滞っていた製品開発を再開し、今秋から本格的に市場投入する。

新製品は耐油性、耐摩耗性、耐薬品性に優れ、天然ゴムラテックスアレルギーリスクも軽減するニトリルゴム（NBR）製の使いきり手袋が中心。「NBR 製は使い勝手が良く、食品業界だけでなく医療業界でも引き合いが増えている。ラインアップにおけるNBR 製品の比率を上げることで、販売力強化に繋げていく」(宇都宮製作)。

新製品の筆頭に挙げるのが、高付加価値ブランド“Pro + (プロプラス)”シリーズから9月に発売した検査・検診用「Pro +ニトリルグローブ MET PF」だ。新製品は柔らかな紫系の“ライラック色”が特長で、同社では初採用のカラーとなる。性能面では薄さとNBR 製の特長を両立しており、ピンホールについても、同社の使いきり手袋の中で最も厳しい検査基準をクリアしている。「医療業界では、血液付着時の鮮烈さを軽減するため、カラー手袋が一般化しつつある。婦人科や小児科等でも、より柔らかな色合いが求め

られる傾向があり、そのような需要にも応えていく」(同) 考え。

また、カラーだけでなくサイズ展開も充実させる。9月に発売した「シンガーニトリルコンフォートグローブ」では、通常の最小サイズSSよりもさらに小さいSSSを含めた5サイズで展開する。「製造現場では、女性やアジア系の従業員など手の小さいユーザーが増加しており、SSサイズでも大きいケースが増えている。特に刃物などを使用する食品工場では、異物混

NBR 製使いきり製品を本格投入

入を防ぐためにフィット感が重視され、SS以下のサイズが求められてきた。SSSサイズを含む新製品の投入は、これらの要望を受けてのもので、様々なニーズに対応できると期待している」(同)。

その他の展開では、飲食業界に向けて「シンガーニトリルSRB」を9月に投入。新製品は汚れの目立ちにくいブラックを採用。「これまで黒色は工業用のイメージがあったが、特に飲食業界では、スタイリッシュで高級感のあるカラーとして認知されており、ストローなどにも採用が広がっている」

(同)。パッケージも黒を基調にしたスタイリッシュなデザインを採用しており、レストランやバーベキュー等の飲食用途を軸に販路開拓も進めていく。

手袋以外の新製品では「シンガーディスポオーバーコートMP」を5月、「シンガーギャザーキャップMP」を6月から発売している。両製品は従来品に比べ、価格を抑えたリーズナブルさが特長。キャップは従来のホワイト、ブルー、ピンクに新色ブラックを加えた4色展開で、工場のゾーニングに



ライラック色が特長の「Pro +ニトリルグローブ MET PF」

も役立つ製品となっている。発売中の2PLY(層)マスクを合わせ、MPシリーズとして拡販していく。

なお、同社ではNBR 製品の多くをマレーシアの協力工場で製造しているが、前述の「Pro +ニトリルグローブ MET PF」と10月に発売する軽量

で薄さが特長の新製品「シンガーニトリル SAT」の2種については、タイの協力工場で生産する。「コロナ禍でのロックダウンなどの経験から、製造国・製造品等の分散を進めていることの一環で、有事の際のリスクヘッジを図る」(同) 考えだ。